

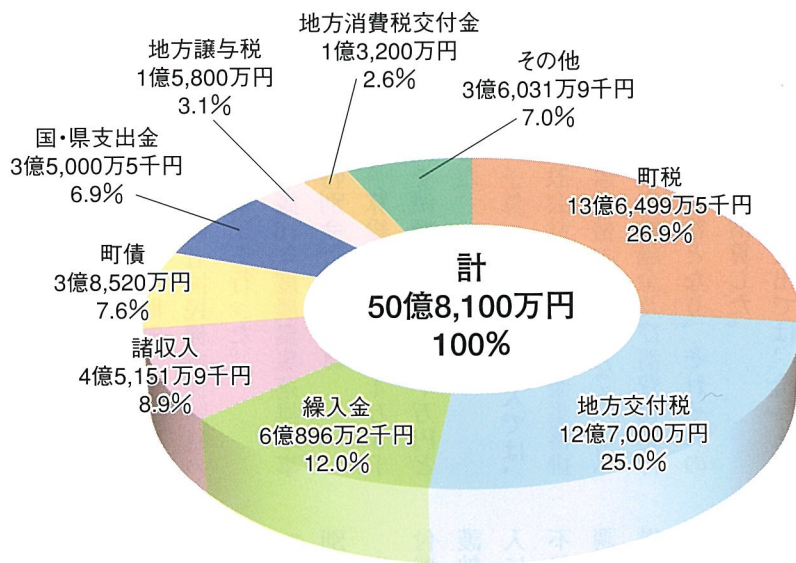
平成17年度一般会計 50億8,100万円スタート

平成17年度一般会計予算は、人件費の削減や経常経費の一層の見直しを行うとともに、「限られた財源の重点的・効率的な配分」を念頭に編成し、懸案であった横芝中学校移転のための用地取得に着手するほか、横芝小学校の耐震補強工事、市町村合併に伴う電算統合事業等の新規事業に加え、昨年度から実施している町内全域を対象とした空調機器設置事業補助金等により、予算規模は前年度当初予算に比べ0.6%増の50億8千100万円、借換債を除く実質予算規模では5.4%の増となっています。

歳入

歳入の大きな柱となる町税については、景気の回復基調から法人関係税を中心に増収を見込み、前年度に比べ2・9%増の13億6499万5千円を計上しました。また地方交付税は、一般財源化されることに加え、平成14年度から実施されていた段階補正の見直しが終了したこともあり、4・9%減の12億7000万円を見込んでいます。

この他、国・県支出金、空港周辺対策交付金、財政調整基金繰入金、前年度繰越金等を各事業推進の重要な財源として活用することとしています。



歳出

中学校移転に向けての用地取得事業や横芝小学校耐震補強工事等の教育施設整備事業をはじめ、2年目を迎える空調機器設置事業費の補助及び光町との合併に伴う電算統合事業等を中心に予算計上をしました。

また、町の基幹産業である農業振興策としての広域営農団地農道整備事業、町道路線の道路改良事業及び国道126号山武東総道路整備事業負担金をはじめとする道路網の整備、その他、農業の振興、教育の振興、福祉・医療の充実、生活環境の整備、防災対策など住民福祉の増進に積極的に財源の投入を行い、新総合計画の施策の推進を図るべく予算編成を行いました。

